

<p>【1班】 【ファシリテータ】 増井宏昌</p>	<p>【書記】 北垣貴寛</p>
<p>F プレスト開始（5分） S プレスト結果をまとめる 話し合いながら新しい案がでてくる プレスト案をテーマごとに分解 発表テーマを絞る 「対策」をがつつりいく 「サムネ詐欺」に関して熟論 F 「サムネ詐欺」があることに対するデメリットは？ 見なければいいのでは？ S 削除要請がいるね F 削除要請→「プロバイダ責任制限法」 F ヒヤリハットの法則が生まれようとしている S TwitterなどのSNS媒体について S 著作権やったらどうする？ S SNSの話に戻る Case-by-caseで考えてみる 「予防」をどうするのか 「自撮り詐欺」に関して→気にしない、心の問題 F ネット詐欺は「ワンクリック」と「架空請求」？ S ソシャゲの課金に関して S PPT制作開始 まずは、付箋を貼った模造紙で構成 F ヒヤリハットの紹介（ヒント） S 立ちながら議論 F ヒヤリハットの仕組みを解説しながら、生徒がストーリー構成 S ストーリー構成で悩む S ギリギリでパワが完成 <熟議終了></p>	
<p>【ファシリテータ所感】 議論は生徒の自主的な進行でまとまりました。トラブルが一連の流れで誘発していくと気づき、各々に対する予防と対策も考えられていくところが非常に良かったと思います。生徒たちがものの本質だけでなく、対策とは何なのか予防は何をすればいいのか深く議論できたと感じました。</p>	
<p>【書記所感】 生徒の自主的な議論によって、ファシリテータの出番がほとんどありませんでしたが、それでよかったのではないかと考えています。生徒が本当に困った時に、こちらから少しヒントを出してあげることによって議論が再度活発になり、最後までしっかりと道筋のある提案が作れたのではないかと思います。</p>	

<p>【2班】 【ファシリテータ】 畠平 誠也</p>	<p>【書記】池西風美</p>
<p>13:00 開始 (ブレインストーミング) F みんなが知っているネットトラブルを上げていこうか S これってどうやってまとめる？ F まずみんなで出してみ、そこから考えてみようか F 量をたくさん出していったほうがいいよ。思ったことをどんどん書いて行こう</p> <p>13:30 (まとめ終了 熟議開始)</p> <p>F ネットトラブルがなんで起こるかの原因を考えながら進めていこう S LINE やったら、文章の勘違いやよね S でもそれって仕方ない？ F なんで誤解が起こるのかな？ S 分かりにくい言葉になるし、表情わからん。どんな感じで言うてるのか理解しにくい S 絵文字とか使ったらわかりやすいのよね。 F 絵文字使うのって予防かな？対策かな？ S わかっていたらできるし、予防かな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防は何か ・対策は何か ・トラブルの原因は何か <p>意識して考える</p> <p>15時20分 PPT</p> <p>各自熟議の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめをどうするか？ <p>S ネットは炎上して使うものじゃなくて、楽しく使うもの S enjoy? S 使えるね</p>	<p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテータ所感】 今回奈良のファシリテータを経験してみて、前回の大阪と比べると高校生の子の性格が大人しくて意見を引き出すのが難しく、ファシリテータの腕がそのまま班の意見として出やすい傾向にあると思いました。ですが、前回の1人でファシリテータをしていたのとは違い、サポートで池西さんが居てくれたので僕がどう進めていこうか悩んでいた、うまく話が出来ない時に手助けしてくれる安心感はとても大きくて、別の視点からの物の見方を高校生達に教えてくれました。今回の ICT カンファレンスを終えて、高校生達だけではなくファシリテータがそれぞれ考えてる事が違うと実感し、僕自身ももっと広い視点で考えていく事が大切だと思いました</p>	
<p>【書記所感】 全体的に知識を持った高校生が多く、熟議の深さを感じました。ですが、ファシリテータから声をかけないと一歩が出せず、不安に感じている生徒も多かった。今どんなことをしているのか、これから何をするのかをしっかりと伝える必要があると思います。また、お昼の時も、班で食べることに抵抗があるのか学校どうして集まって話していることが多かった。熟議の場所ですが、統一していたほうが他の班の進み具合もわかり、生徒も意識しやすくなるのではないのでしょうか。</p>	

<p>【3 班】 【ファシリテータ】 上村祐介</p> <p>F:みんなは、スマホはよく使う？PCは？ S: (必要最低限の連絡にしか使わない人と、Twitter やゲームなどでよく使うという人、ネットはPCであるという人がいた。全員 LINE はしていた) F:まったくネットを使わないって人はいないから、知っていると、経験したとか、友達に聞いたとか、何かしらネットトラブルを思いつくはずだね。思いつくネットトラブルを付箋紙に書いてください。(プレスト) S:プレストで出た案 (ウイルス、ゲームでの重度の課金、SNS (ライントラブル、犯行予告、ワンクリック詐欺、著作権違反、肖像権の侵害、写真拡散、出会い系サイトなど) F:じゃあ、今出た案の共通点を見つけていって、いくつかのグループに分けようか。(SNS、詐欺、ウイルス、ゲームの4グループに分かれる) F: SNS系が多いな。4つのグループに分かれたけど、これ話し合いたい！っていうトラブルはある？または、これ経験した！っていうトラブルはある？ S:実は、僕は小学2年生の時にワンクリック詐欺に引っかけたんです。 S:友人に SNS に写真をあげられるのが嫌だ。 F:じゃあワンクリック詐欺と肖像権の侵害について話合っていこう。 F:何が予防で何が対策なんやろうなあ…。 S:トラブルの前にやるのが予防で…。 S:トラブルが起こった後にやるのが対策やと思う。 F:じゃあ、ワンクリック詐欺と、肖像権の侵害、それぞれについて思いつく予防と対策をさっきと同じように付箋紙に書き出してみてください。 S:プレスト結果 (著作権の侵害…予防:ルールを作る、写真を撮るときは許可を取る、関係ない人はモザイクやぼかしを入れる / 対策:運営 or 投稿者に削除申請、周りの人に相談)(ワンクリック詐欺…予防:フィルタリング、サイト URL の確認、危険性があるサイトは避ける、変な広告は押さない / 対策:無視、引っかけたサイトのことを調べてみる、大人に相談) F:この班のメンバーは全員顔写真をネットに勝手にあげられることは嫌だということだけど、どうして嫌なのかな。講演でも触れられていたけれど、ネット上に顔写真が上がると何が困る？</p>	<p>【書記】 小篠弘奈</p> <p>S:個人の特定、悪用につながる。自分の知らないところで自分の顔写真が広まるのは嫌だ。 F:では今出ている予防と対策はその困る事態を防げている？また、起こってしまった後の対応としては適切だろうか。 S:適切。 F:次にワンクリック詐欺の被害経験者がいるということだったけど、経験した後、何か対応した？ S:フィルタリングをした。今でもしており、携帯ではWebページが見れないのでインターネットは自宅のPCで両親の目の届くところでやっている。 F:その対応は適切だった？ S:適切。安全なページだけが表示されるので、引っかかる心配も少ないです。 S:フィルタリングってただ不適切なページを見えなくする以外の機能はあるのかな。 T:掲示板というカテゴリをブロックする、2ちゃんねるはダメとかURLごとにブロックする、年齢ごとにアプリを制限するなど、さまざまな制限の仕方がある。androidではフィルタリング機能のオプションとして、利用時間を制限することもできる。S:年齢ごとにアプリも制限できるなんて知らなかったな。 F:フィルタリングはトラブルに効果的だということが分かった今、これからみんなはフィルタリングを入れる？ S:入れない。いちいち見たいサイトのURLを登録するのは面倒だ。 S:トラブルにあったことのない人は危機意識が足りない。僕のように体験していればフィルタリングの有用性が分かる。フィルタリングはいらないと言っている人にはトラブルを体験させるべき。 F:トラブルを本当に体験させてしまうのはいろいろまずいと思うよ…？ S:じゃあ、疑似体験をさせればいいんじゃないかな。 S:授業とかでやればいいと思う。</p> <p>まとめ PDF を作り始める</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテータ所感】 今回の ICT カンファレンスは学生側ではなく、ファシリテータとして参加させて頂きました。初めてのファシリテータで最初は何を話せばいいのかわからなかったのですが、パートナーがサポートありスムーズに進行できたと思います。今後も高校生のサポート側として参加すると思うので、次回の ICT カンファレンスまでにボキャブラリを増やして頑張りたいです。</p>	
<p>【書記所感】 最初に打ち解けて全員が話せるようになるまでが少し時間がかかったように思いますが、意見が全くでないということではなく、早い段階で予防と対策の案が出ていて進めやすかったです。しかし、フィルタリングの話をもう少し違う方向に生かすことができればもっと面白い議論になっていたのではと、後になって思いました。</p>	

<p>【4班】 【ファシリテータ】 山口達也</p> <p>Brain Storming 開始</p> <p>S: 個人情報を晒すことはいじめと同じなのではないか。 F: 一種のいじめと同じだと思う。</p> <p>S: キスなどの動画、写真をネット上に上げてしまったら、消せないので就職活動に影響するのではないか。</p> <p>S: 個人情報を登録する際、自分の情報をちゃんと把握するべき。 F: SNS やネットに登録するとき特にね。</p> <p>S: 保護者による青少年のネットワークの管理をするべき。 S: 保護者は自分が自由に使っていて、子供の管理をしていない。</p> <p>Brain Storming (予防) 開始</p> <p>S: 個人情報流出は、結局は自分がやっちゃっているのではないのか。</p> <p>S: 利用規約の内容を少しでも理解するべき。 F: 今だと早くダウンロードしたいからとか早く利用したいから読まないで同意してしまっているよね。だから、考えて行動すればよいのではないだろうか。</p>	<p>【書記】 林千尋</p> <p>Brain Storming (対策) 開始</p> <p>S: 被害者同士でグループを作り警察や弁護士に相談する。 F: 集団で行動したほうが良い。</p> <p>S: 流出させようとしている人のアカウントを停止してもらおう。 S: そして、ネットだけに適用する法律を考えるべき。</p> <p>S: あえて、加害者の人に話を聞いてみる。 F: 被害者の人よりも手段などがわかるかも。</p> <p>S: 一度自分の個人情報がどこから流出したのか自分自身で確認するべき。</p> <p>S: 問題から逃げていることになってしまうけど、炎上の波が収まるまで待つ。 S: 自分がやったと認める。 F: 炎上を抑えるとしては一番良い方法かもしれない。</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテータ所感】 全体を通して、やる気の感じられる班員で恵まれていた。トラブルについての問いに「個人情報」を選択し、問題点・予防・対策を通じて、たくさんの附箋を記入してくれた。トラブルに対して、重要度を理解し、様々な予防対策を出す事が出来た。班員一人ひとりの積極的な発言、班員に意見に耳を傾ける雰囲気醸成されていた。</p>	
<p>【書記所感】 最初の Brain Storming から様々なネットトラブルの意見が出ていたので良かった。様々な意見の中から「個人情報」を選択し、予防・対策について普段あまり聞かないようなことも意見してくれた。班員一人一人が自分の意見を沢山積極的に発言してくれて、問題について考えることができたのではないかと思います。</p>	

<p>【5班】 【ファシリテータ】 河内真希</p> <p>F: どういう風に発表してみる? S: せっかく全面ホワイトボード使えるならスライドを使いつつ、ホワイトボードに書き込んでいく方式は? S: あ、それ面白そう! F: 何から考えていこっか? S: 起承転結の起と結を早めに決めておいたほうがいいと思う。 F: 身近なものかニュースで見るようなものかどちらをメインにする? S: うーん。ネットトラブルだけでもたとえば Twitter で「こいつにこんなこと言われた…マジうざい」ってツイートしてそれを第三者が見たときに「あいつこんなこと言っとったで」と間接的に伝わったことよってトラブルになったっていうケースもあるかもしれないよな。 S: LINE とかだと共有してるけど、あえて広めてくださいって言ってたら広めてたりしててもいいけど Twitter とか Facebook は何か違うんですか? S: 鍵付きのアカウントのフォロワーが必ずしも鍵付きアカウントとは限らないやん? S: じゃ、まずお互い何の SNS ツールを使っているか調べてみよう(班でアンケートをとる)。 S: この LINE, Twitter を見てて実際にどう感じるかっていうのを一緒に考えてもらうのは結構いいかな、って思っとる。 S: 話の流れ的に相手の表情を読み取ることが難しいから S: 言葉の受け取り方がみんな同じとは限らないからな? S: 学校のクラスのグループ LINE が変わったのを知らなくて次の日動かんくなってなんでなん? って聞いたら「え? 変わってんで?」って言われた時は自分の中でちょっとえー…ってなったなあ。 S: 学校の先生も投げやりなところがあるからなあ…「君ら LINE とかしてるんやろ? ○○に××って伝えといてくれへん?」って言われたりしますよー。 F: え、学校でスマホとか SNS のルールはあった? S(書記以外) SNS は禁止されてないですよ? S: 1 日何回までってルールをシステムの設定があってもいいんちゃうかな? S: SNS 関係はトラブルとしても挙げやすいと思うねんけど、マナーとモラルが大事ってことを分かっとなアカンよな。 S: 『頭の悪い子はネットを使うべきではない』ということに対して僕は賛成だと思うんですよ。だって事実やもん。 S: 単に学力、偏差値が低いという意味じゃなくて? F: 人間的にどうか、ってこと?</p>	<p>【書記】 反田愛</p> <p>S: 根本的に自分の配慮が足りない場合とここにいる人の配慮が足りない場合のパターンがあると思うねん? S: 結局、配慮が足りないっていうのは第三者がどう感じるか、ってのが大事! F: どうどうめぐりが終わらなくなりそうやと思うし、実際に被害を受けたつもりでどうしたらいいかっていうの考えてみよ? S: デジタルタトゥーという言葉があるけど、要は半永久的に消えないってことやんな。 S: あー。タトゥー、なるほどな……。 S: なんか詰まった時に別の考え方をしてみたらいい案が浮かぶかも。 F: うんうん。結局は大人を頼らなアカンくなってまうよな。 S: 「こうする問題があったからこうしよう、じゃなくて「こういうことがもしあったら困るからこうしておこう」にした方がいいよな。 S: 冷静に、勇気をもって行動することが大事よな。 F: 誤送信しょっちゅうしてまうから…。 S: 身近にあるからこそ、確認するってことを軽んじてまうっていうのは多いかも。 S: LINE 結局せんかったらええやんって考えてまうな…。 S: 起こるべくして起こるトラブルもあるけど拡散してしまうのがサービスのいい面も悪い面もあるんだな。 F: 最終的には人間がどこでブレーキをかけなアカンってことですよな? S: ネット社会で常識がない人はリアルの世界でもどうかなあ…っていう人って絶対おるよな? S: 自分が相手を頼る前提じゃなくて自分で戦うっていうのもやらなアカンと思うんですよ。 S: 問題が起こったから第三者の目を考えるっていうものじゃなくて、問題が起こる前から第三者の目を考えてタイムラインに載せたりするようにすべきじゃないですか? S: 正しく物事を捉えるって難しいっすねー。 S: 最終的には心理的なストッパーが投稿するのにあるかどうかですよな? S: 対策は。じゃあ予防はどうしようか。 S: 1 つの内容を濃密にしたほうがいいのか、色んなものを詰め込んだ方がいいのか、どっちなんですかね? S: 悩むなあ。 S: 「分かっているでしょう?」を前提に送信するのは考え直さないとね。</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテータ所感】 初参加で初めてファシリテータをさせていただきました。一人ひとり、意見を譲ることができなかつたり、かと思えば気を使い過ぎてなのか話を振ってみても意見を言えなかつたりと上手く誘導してあげることができませんでした。みんな何かしらの意見をもって参加をしていると思うのでちゃんと発表者に興味を待たせられる場を作っていけたらもっと活発に意見を出し合えたんだろうなと思いました。是非またこのような機会があれば今回の反省を生かしたファシリテータをしていきたいです。</p>	

<p>【6班】 【ファシリテータ】 日下部 拓人</p> <p>F:学校でネットトラブルの話をするか? S:学校ではあまり話さない。授業ではワード等が主。</p> <p>F:インターネットとネットの違い F:実際に予防と対策をしてる人は? S:予防は自制しかないと思う。 依存してた時期があった。一日で使用する時間を決めた。 S:根本的には自制は予防になっていないと思う。 自制にも自分のラインがある。知識量の問題にもなる。 F:こういうのがあるのに、何も知らずに使わないのはもったいない。調べてみよう、聞いてみようという姿勢が○ また、わからないからどうするかという意見の交換を試みるのも良い。知識がある分固定概念がある。わからない人なりの意見がほしい。</p> <p>F:ネットトラブルとは?事例はあるか?</p> <p>◎アイスブレイキング・・・5分 ↓以下意見一覧 ・住所特定 ・ライン、メールに顔文字がなくて怒っているように見える。または、エクスクラメーションマークが多すぎて怒っているように見える ・バイト先の店長が既読無視をする。 ・スマホゲーム、匿名でするから悪口を言う人がいる。 ・ツイッター裏アカウントで悪口言う→スクショで流出、ブロックするとか →悪口言うやつが悪いのか、暴露するやつが悪いのか? ・ゲームとかで、ずる休みがバレる→家まで押し掛ける ・ラインのグループに招待され忘れた、当日連絡が来て気づく</p>	<p>【書記】 大宅 穂香</p> <p>・なりすまし ・好きなアーティストのライブのオフ会?みたいな感じでライブ後ごはん行く。初対面で、ツイッターで仲良くなった人と。長い時間をかけて仲良くなったらOK?</p> <p>F:普段どんな SNS を使うか? S:ライン (ラインは SNS に入るのか?)、ツイッター、FB</p> <p>◎出た意見に対して予防・対策のブレスト 予防=ピンク、対策=イエローのポストイット</p> <p>◎ブレストした中から6班は何に重点を置くか →カテゴリ分けせず、すべてのカテゴリにおいて考える 誤送信に焦点を絞って予防と対策</p> <p>S:大阪で出てきた、 本質・・・なぜ起こったか 現象・・・問題になってること (誤送信) を参考にして予防と対策を考えると意見が出やすそう。</p> <p><熟議終了></p>
<p>【ファシリテータ所感】 全体で考えるということはできたと思います。ただ積極性に欠ける人もいて、ファシリテータとしてうまく議論に巻き込めなかったのが残念でした。しかし、最終的には全体で意見をまとめ、資料を作り、発表できるところまでできたので ICT カンファレンスを楽しんでもらえたと思います。</p>	
<p>【書記所感】 アイスブレイキングの事前準備をしておらず、ディスカッション以前の時間も計画的にしていればより発言しやすい雰囲気を作れたかなと思います。 6班のメンバーはネットトラブルの事例を持っている人が多く、又、それに対して興味・関心があり今回のテーマに元々向き合っている人が多いという印象がありました。</p>	